

大地の声



各地区で空中散布を実施

声援を背に登壇！—西船地区女性部



7月6日、JA長野県ビルでJA関東甲信越地区女性組織連絡協議会主催「令和5年度JA関東甲信越地区女性組織リーダー研修会」が開催され、女性部組織のリーダーやフレッシュミズのリーダーなど約280名が参加して活動体験発表、講演会が行われました。

活動発表では、同協議会に所属する1都9県の代表者10名がそれぞれの女性部活動を発表。

千葉県からは、3月に行われた発表会で最優秀賞を受賞した当JA西船地区女性部金子しのぶ部長が

登壇しました。千葉県女性部協議会の伊藤はつ子会長や西船地区女性部の皆さんの声援を背に、以前の発表内容から精度を上げ、暗記するほど練習に練習を重ねた成果を発揮しました。残念ながら最優秀賞には届きませんでした。金子部長は「皆さんに応援してもらえてよかった！」と話しました。

その後の講演会では、「食が身体をつくる～口の中からみえてきたこと～」と題し、歯科医師の鈴木公子さんが歯と食事についてお話くださいました。

会場内は活気にあふれ、金子部長はじめ参加した女性部の皆さんは今後の活動の活性化に向けていい刺激を受けました。



各地で空中散布が行われました—野田市、柏市、我孫子市



玄米黒酢を散布する有人ヘリ (野田市)

水田一面が緑一色に染まる7月、水稻の生育促進や病虫害防除に向けた散布が行われました。

野田市では7月上旬から、ラジコンヘリと有人ヘリによる散布が関宿・小山・船形など7地区で実施されました。同市では農業による病虫害防除のほか、市が安全・安心の米の生産を目的に取り組む「玄米黒酢農法」による玄米黒酢の散布も行いました。

柏市では7月中旬から、ラジコンヘリによる散布

が手賀や布瀬など18地区で実施されました。各日、約10機のラジコンヘリがそれぞれのエリアに分かれ、一斉に防除を行いました。

両市とも早朝からの作業にも関わらず、生産者や市・JA職員など多くの関係者も交通整理や補助作業を行いました。皆さんの協力と連携により安全に作業が完遂出来ました。

また、我孫子市の一部でも空中散布が行われており、稲作が盛んなこれら地域では、散布を行うことで稲病虫害の発生を未然に防ぎ、良質で安定した生産を目指しています。



ラジコンヘリで散布する様子 (柏市)

新鮮農産物をプレゼント—野田市、JA



野田市と当JAは6月18日、三協フロンテア柏スタジアムで行われたJ1チーム・柏レイソル対アビスパ福岡戦「野田ホームタウンサンクスデー」に参加しました。

市とJA職員は観客の入場時間に合わせ、先着1,000名に抽選番号付きのチラシを配布。ハーフタイムに当選番号が発表され、試合終了後に野田市産の黒酢米1袋(300g)と枝豆1袋(300g)を当選者へ手渡しました。

この日は父の日ということもあり、当選番号を握りしめたお子さんに向けて職員が「お父さんと一緒に食べてね」など声をかける一幕もありました。市とJAは引き続き、市の農畜産物の更なる認知度アップに向けPRを続けます。



笑顔で品物を持つ当選者

今後の方針を話し合いました—三線々下対策連絡協議会



協議を前に挨拶をする寺田会長

7月5日、東京電力エリア内3つ(東京北線・鬼怒川線・水海道線)の線下対策協議会からなる三線々下対策連絡協議会の第12回総会が野田市市内で行われました。

総会では寺田憲生会長の挨拶に続き、東京電力ホールディングス(株)の現状と各線の交渉経過や地価等の推移など報告がされました。

また、各線の経過を踏まえ、今年更改交渉となる東京北線・水海道線(補償期間令和3年4月～令和6年3月)について、更改の3要素(地価変動・物価変動・公租公課)の動向を鑑み、粘り強い交渉にしたい旨を基本方針としました。

力を合わせて花を咲かせました—船橋市農業士等協会



7月8・9日の2日間、船橋市立金杉小学校近くのひまわり畑で「ひまわりフェスティバル」が行われ、船橋市農業士等協会と地域のボランティア団体、児童らが協力して咲かせた約2万本ものひまわりが披露されました。

このイベントに向け、同協会は春から準備を開始。4月下旬から6月下旬にかけ、播種から除草・追肥などの作業を児童や保護者らと共にしました。さらに、同イベントには育てたひまわりで作る「ひまわり迷路」も登場。児童自らが考えた迷路の図面を基にひまわり畑を整備し、イベント当日までに「JAPAN」という文字を完成させました。

同協会は市内の生産者が所属し、市内の農業発展に向けた活動を行っています。同イベントも子供たちに土や緑に触れる機会を増やすきっかけ作りとして行われ、20年以上も続く市の一大イベントとなっています。



一面に咲くひまわり

新規就農者を歓迎しました—西船地区



左から 松戸市長、川野辺さん、石井部長、成島さん、木下専務

西船地区青壮年部は7月11日、新規就農者の歓迎会を行い松戸徹市長や市関係者、青壮年部員ら20名が参加しました。

今年度新たに就農したのは、成島聡史さん・川野辺豊樹さんの2名。将来を担う若手の加入に石井俊介部長は「コロナ禍の規制も緩和されて、これから青壮年部活動も活発になる。一緒に盛り上げて欲しい」と歓迎の言葉で迎えました。さらに、松戸徹市長から「今まで先輩生産者が培ってきたものを地盤に、若手の生産者でさらに飛躍させて将来に繋げてほしい」と激励の言葉が贈られるとともに、市と青壮年部から2人へ記念品の贈呈がありました。

食育授業を行いました—西船橋枝豆研究会



児童たちと一緒に作業する田中会長

西船橋枝豆研究会は7月11日、船橋市立市場小学校で食育授業を行いました。

この日は同研究会の田中裕之会長と鎌倉優希さんが同校を訪問し、5年生の児童30名に西船地区で作られる枝豆と農業について説明しました。また、田中会長と鎌倉さんの指導のもと、児童たちは農作業（もぎ取り・袋詰め作業）にも挑戦しました。日常生活では体験できない作業に手間取りながらも、お2人の説明を聞きながら一生懸命作業しました。

授業を受けた児童からは「農家さんは何時から作業をするのですか?」「A品とB品の見分け方は?」などの質問が寄せられ、農業に対する関心の高さがうかがえました。

採れたて野菜の美味しさをPR—西船地区



夏本番を迎える7月14、15日の2日間、西船橋葉物共販組合・西船橋枝豆研究会のメンバーを中心とした西船地区の生産者は、JR西船橋駅コンコースで販売会を行いました。

西船橋産野菜の販売は今回で2回目。船橋ブランド野菜の小松菜や枝豆はもちろん、トマトなどの旬の野菜や珍しい西洋野菜がずらりと並びました。

生産者は、西船橋地区で作られる野菜や採れたて野菜の美味しさを伝えながら、行き交う人にPRをしました。



地元野菜をみんなでPR

これからの備えて—西船地区青壮年部



研修会の様子

西船地区青壮年部は7月18日、西船地区多目的ホールでインボイス研修会を行い20名が参加しました。

当JAの顧問税理士も務める税理士法人深代会計事務所理事長・深代勝美税理士を講師に迎え、いよいよ間近に迫ったインボイス制度について改めて理解を深めました。インボイス制度の仕組みや手続きなどを基軸に、生産者が知っておくべきポイントや注意点など細かな説明を受けました。

参加者らは経営に関係することだけに、不明確だった点や考えられる懸念点を質問。これからの備えてそれぞれ必要な情報を共有しました。

旬の野菜を直売—柏地区運営委員会



柏地区運営委員会は7月18日、柏集出荷場で直売会を行い、旬のトウモロコシや枝豆、カボチャなどの野菜を販売しました。

この直売会は、一番身近な消費者である地域の方に地元野菜や新鮮野菜の美味しさを伝え、一人でも多くの消費者に地元野菜・地元農業の必要性を伝えるため令和2年より実施しています。例年、小かぶの栽培がない夏場の開催はありませんでしたが、委員からの声により、今回初となる夏野菜の販売会が実現しました。

暑い中にも関わらず、リピーターの方から初めての方まで多くの方が来場しました。「暑い中ありがとうございます」や「これはどんな品種なの」など言葉を交わし、生産者と消費者の交流がさらに深まる会となりました。



朝採れのトウモロコシも販売

楽しく華やかな旅行となりました—野田地区女性部



野田地区女性部は6月14日、日帰りレクリエーションを行い部員81名が参加しました。

約4年ぶりの実施となった今回の日帰りレクリエーション

は、季節の花と蔵の街を楽しむ親睦旅行を行いました。

一行は大型バス2台にわかれ栃木県栃木市へ。国内最大級の温室を持つ「とちぎ花センター」で季節の花や珍しい植物が展示される広大な園内を回り、咲き誇る花々を楽しみました。昼食の後は街中を流れる巴波川^{うずまがわ}で30分の蔵の街遊覧と岩下の新生姜ミュージアムを楽しみました。

大人数の旅行は久しぶりということもあり、皆さん旅行と会話を楽しみ親睦を深めました。



“とちぎ花センター”で記念撮影

実践！新レシピを習得—西船地区女性部



西船地区女性部は6月23日、西船地区多目的ホールで第2回女性大学講座を行い、8名が参加しました。

今回は講師に櫻屋敷智子氏を迎え料理教室を行い、新ごぼうご飯・レンコン入り花シューマイ・茄子のホットサラダ・沢煮椀の4品を作り上げました。どの料理も素材そのものの持ち味を生かして調理されており、食感も風味も豊かな組み合わせとなりました。

講習後は、試食をしながら調理方法の振り返りや仕上がりなどを話し合い、「花シューマイは皮を切って転がしてくっつけるだけで簡単で美味しい」など感想が聞かれました。



夏らしい色鮮やかなアレンジメント—西船地区女性部



西船地区女性部は6月28日、多目的ホールでフラワーアレンジメントクラブを開催しました。

2回目となる今回は、7名が参加し「ヒマワリを使った夏のアレンジ」と題して粗密なアレンジに挑戦しました。

元気な色味のヒマワリと可愛らしい色味のスプレーカーネーションを使い、空間を意識しながら“粗”と“密”を上手く表現し、四角形に入るように仕上げました。

夏らしくどこか懐かしいアレンジに仕上がった完成品を前に、「シンプルなデザインに見えて難しかった」と参加者から声がありました。



一気に夏気分になりました

営農情報

令和5年産米 最後の仕上げ ～適期収穫と乾燥・調製について～

お米の刈り取りの時期が近づいてまいりました。
今回は、令和5年産米の刈り取りに向けた最後の仕上げについてご説明します。
適期の収穫と丁寧な管理・調製で、より高品質で多くの収量が得られるようにしまし
ょう。

刈り取り時期について

水稻の刈り取り適期の判定は、一般的に出穂後の日数による判断と帯緑色籾歩合による判断があります。出穂後の刈り取りまでの日数は各品種で違うので注意しましょう。

また、天候不順や高温など天候によっては刈り取りまで日数に大きく影響を与えるので、登熟ムラの可能性が高くなります。出穂後日数は大まかな目安に行い、登熟を
しっかり確認（「**帯緑色籾歩合 15%***」）し収穫しましょう。



出穂から刈り取りまでの日数の目安

品種	ふさおとめ	ふさこがね	コシヒカリ	粒すけ
出穂後 日数	33日	37日	38日	38日

※帯緑色籾歩合とは籾に少しでも緑色の部分がある籾の割合のことで、帯緑色籾歩合 15%の時に収穫を行います。

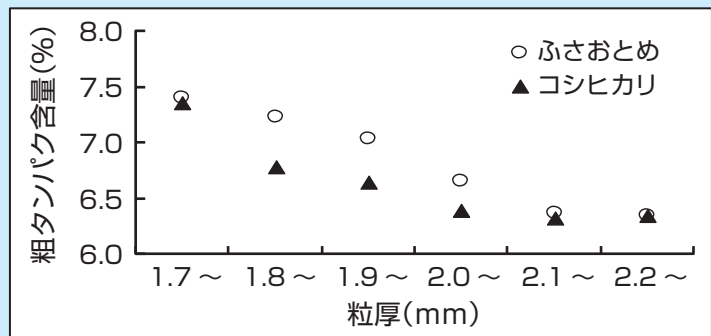
乾燥・調製について

高温による急速な乾燥や過乾燥等は胴割れ米を発生させ、品質・食味を低下させます。
乾燥の仕上げ水分は、14.5～15.0%とし、特に過乾燥は避けましょう。

また乾燥直後の穀温が高い状態で籾摺りを行うと肌すれ米等が生じやすいので、籾
摺りは充分放冷してから行い、籾
摺り機のロール幅は品種に応じて
調製しましょう。

粒が小さい米が混ざると玄米の
粗タンパク含有率が上がり、食味
低下の要因となるため、選別は
1.8mm以上の網目を使用し、粒張
り、食味のよい「おいしいお米」を
出荷しましょう。

粒厚と粗タンパク含量の関係



野田地区の農業用廃プラスチック類の回収について

野田市では農業用廃プラスチック類を回収するにあたり、今年度も廃プラ類の放射線量の測定を行うことになりましたのでお知らせします。農家の皆様には以下の点に注意していただき廃プラ類の搬入を行ってください。

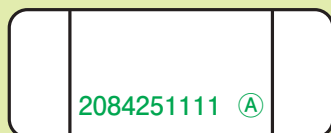
- ① 回収日：令和5年10月22日(日)・令和6年1月21日(日)
- ② 時 間：午前9時～正午 旧関宿地区・午後1時～午後4時 旧野田地区
- ③ 集積所：野田市堆肥センター
- ④ 梱包したビニールの1つ1つに、農家登録番号と分類を油性マジックで記入してご持参ください。記入がない場合、処理工場では回収できません。

分類

- ・廃ビニールA : 平成23年3月に展張されていた使用済みビニール
- ・廃ビニールB : 廃ビニールA以外の使用済みビニール
- ・廃ポリエチレン : 使用済みポリエチレン(従来どおり、番号等記載不要)

上から見た梱包「廃ビニールA」の記入例

(例)



「農家登録番号」とは、2084を頭に付けた電話番号(71を除く)です。
(例) 7125-1111 → 2084251111

1つ1つの梱包に農家登録番号と分類を記入

- ⑤ 回収時に廃プラ類の放射能測定を行います。その結果、0.23マイクロシーベルト/時以上検出された場合は回収できませんのでご注意ください。
- ⑥ 梱包する前に、付着した土や泥をよく水で洗い落してください。

令和5年産 米取り扱い方策

令和5年産米の収穫も間近となりましたので、取り扱い方策についてご紹介します。

【取扱方策】

- 米の価格 作柄・需給動向、販売状況等を勘案して、集荷時期までに設定。窓口に掲示します。
- フレコン検査 面積拡大や労働力軽減を図るためフレコン検査を行います。検査するフレコン全てが品質と水分が均一であることとします。量目1,020KG(皆掛重量1,030KG) ※端数の出荷は行いません。
- 飼料用米 等級区分は「合格」と「規格外」の2区分となります。交付金数量支払の対象は「合格」のみとなります。規格外は飼料用米として出荷されますが、交付金の対象とはなりません。

【収穫・調整等の注意点】

- ① 収穫後の生籾はできるだけ早く乾燥機に張り込み「通風または乾燥」しましょう。
※外気温が高いほど生籾は変質(ヤケ米)しやすいので注意
- ② 異品種混入防止の徹底：品種切替時はコンバイン、乾燥機等の掃除を徹底してください。
- ③ 紙袋の汚れ(機械などの油ジミ、虫害、ネズミ害による汚損)のないようご注意ください。
※特に持越し在庫を使用の際には、使用前に必ず状態確認を行ってください。

「千葉米ブランド力」の向上、維持を図るためには年間を通じての安定供給が必要です。良品質で安全・安心なお米の生産と出荷契約数量の全量出荷にご協力をお願いいたします。

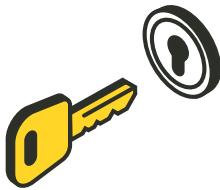
あなたの農業機械 狙われています!

2022年における
全国の被害状況(※)
142件

3つの盗難防止対策

今すぐ
できる!!

POINT
02



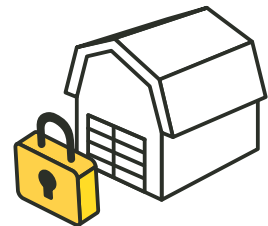
エンジンキーを
必ず**抜く**

POINT
01



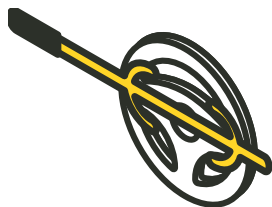
農地に置いて
帰らない

POINT
03



鍵のかかる場所
に**保管**

+αの盗難防止対策



ハンドルロック



チェーン・南京錠等
でタイヤをロック

できるだけ多くの対策を
講じることが有効です!!

STOP! 農業機械の盗難被害!! 営農に不可欠な機械を守りましょう!!

※ 2022年1月～12月の特殊自動車(その他)の盗難認知件数。特殊自動車(その他)とは、道路交通法施行規則第2条に規定する大型・小型特殊自動車のうち、土木・建設以外の特殊用途に必要な構造装置を備えた自動車をいう。ただし、貨物自動車に分類されるものを除く。例えば、フォークリフト、農耕作業用自動車等がこれにあたる。

農林水産省